



公共交通の現状把握

～「かぬま公共交通研究会」
における活用～

栃木県鹿沼市総務部企画課

0. 可視化ツールを活用する効果

ワーキンググループにおけるデータによる現状把握のために活用

【課題】

一昨年前にワーキンググループを組織して以来、視察やワークショップを重ねてきたが、さらに事業を推進するためには現状分析力が弱い

【解決方法】

データに基づく現状把握を実施し将来の見通しを客観的に整理することで、次のステップに進む足がかりとする

【手法】

都市構造可視化ツール等を活用し、視覚的に「現状」や「課題」を把握し、メンバーによる新たな“気づき”を引き出す

「かぬま公共交通研究会」(ワーキンググループ)の取組

「かぬま公共交通研究会」とは・・・

■目的

鹿沼市の立地適正化計画、公共交通網形成計画へ様々な視点から提言をしていく

■体制

庁内横断的に組織した市職員のワーキンググループ（2017.11.6 発足）

■特徴

交通事業者や民間交通団体等を必要に応じて招聘し、意見交換を行いながら協働で進めていく



キックオフ会議

かぬま公共交通研究会

第1回 公共交通ってなんだろう？

第1回の会議では・・・
様々なバックグラウンドを持つメンバーが同じ目標に向かって進むため、交通関係のみならず公共交通に関する疑問、不満、夢をワークショップ形式で共有し研究会としての第一歩を踏み出します。

◆スペシャルアドバイザー：福島大学 吉田 樹 准教授

日時 2017年11月6日(月)13:30～15:30
場所 鹿沼市民情報センター 3階 会議室
(鹿沼市文化橋町1982-18)
お問合せ・お申込み先
鹿沼市企画課 鈴木
E-mail kikaku@city.kanuma.lg.jp
Tel 0289-63-2146
Fax 0289-63-2247

※お申込みは11/2(木)までにお願います

第1回開催チラシ

2. 鹿沼市の公共交通の現状（1）

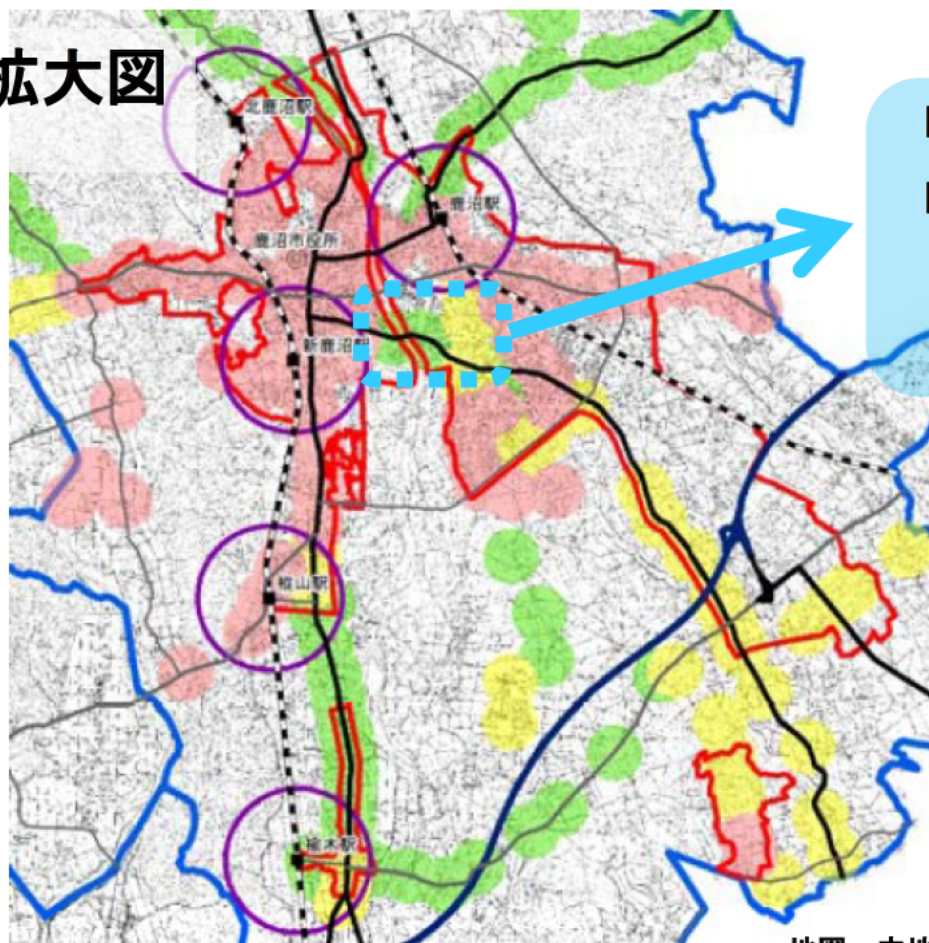
鉄道・バスの運行状況（都市計画区域）

都市計画区域拡大図

（境界：青線）

【凡例】

-  鉄道駅800m徒歩圏
-  用途地域界
- バス便数（便／日・片道）
 -  20便～
 -  10便～20便
 -  1～10便

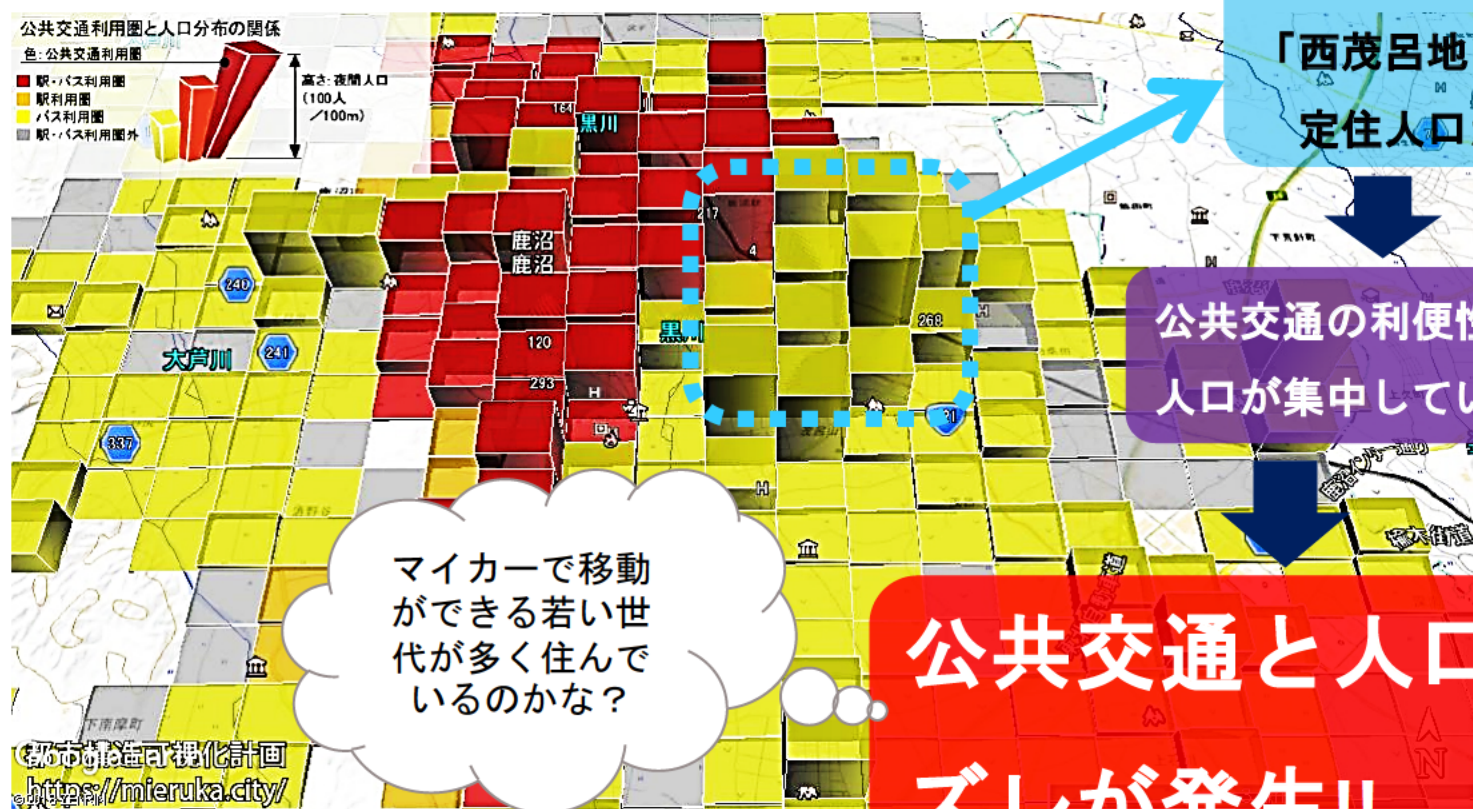


「貝島地区」、
「西茂呂地区」は
バスの便数が
少ない

地図：立地適正化計画策定WG資料抜粋

3. 鹿沼市の公共交通の現状（2）

鉄道・バス利用圏の人口（都市計画区域）



図：都市構造可視化計画ウェブサイトより
(地理院タイル使用)

4. 鹿沼市の公共交通の現状（3）

鉄道・バスの利用率（都市計画区域）

通勤通学に公共交通を使う人の割合
色：通勤通学時公共交通等
利用割合



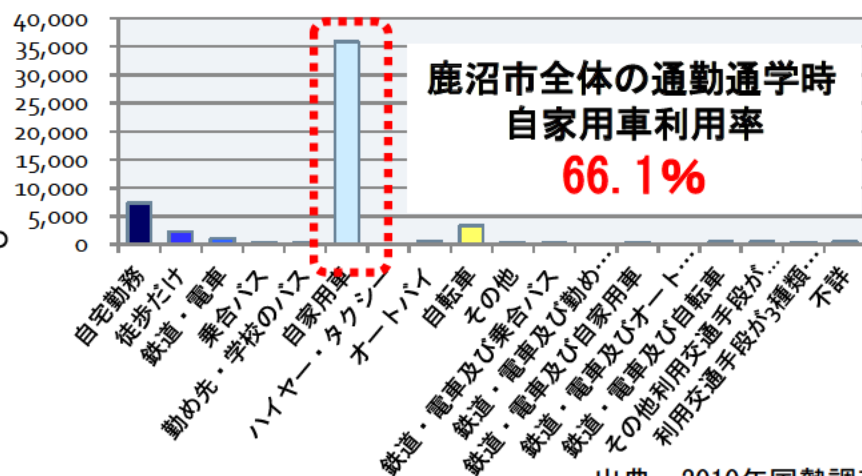
高さ：通勤通学時
公共交通等利用人口
(20人
100m)



都市構造可視化計画
<https://mieruka.city/>

図：都市構造可視化計画ウェブサイトより
(地理院タイル使用)

利便性の良い地域でも
公共交通を利用していない...



出典：2010年国勢調査

5. これからの公共交通を考える

「利用率」と「利便性」の向上が不可欠



利用があれば、利便性は向上する！



自家用車利用のみを前提とした生活行動は、全ての人にとって持続的なものではない！

「かぬま公共交通研究会」の二本の柱

第1の柱 **利用率の向上**のために・・・

◇モビリティマネジメントの実施

- ・安心して乗れるバス停の設置（2018年度～）
- ・イベントバスの運行（随時実施）



第2の柱 **利便性の向上**のために・・・

◇「立地適正化計画」策定と連動した公共交通の活用検討

- ・今後示される市のまちづくりの指針にあわせた
バスルートやその他交通手段活用の検討（2019年度～）

いちご市
栃木県鹿沼市
総務部 企画課